

第 11 期活動報告 防災小委員会

1.小委員会の目的

防災小委員会では、街づくりにおける地下空間の役割を重視し、地上・地下を含めた都市のあり方を見据えながら、地下空間における防災について総合的かつ実践的な研究を推進することを目的として活動を行っている。

2.研究内容

2.1 研究テーマ

「災害に強い街づくりにおける地下空間の防災のあり方」

- (1) 地下空間利用の実態調査
- (2) 地下空間・トンネル火災
- (3) 地下浸水
- (4) 地下空間防災教育・啓発
- (5) 地下空間の有効利用

2.2 研究方針

前期までの防災小委員会のテーマを継承し、下記の(1)～(5)のサブテーマを掲げて調査・研究活動を実施していく。

サブテーマ(1)実態調査、(3)地下浸水に関しては、これまで多くの実績を残してきており、様々な知見が蓄積されてきているため継続して取り組んでいくとともに、実態調査については世界の地下空間の動きや、過去の日本（江戸や京都）での地下空間の活用の歴史等についても調査を行う方針である。また、サブテーマ(2)地下火災について、前期はトンネル火災も含め精力的に推進してきた。今期もその流れを継承する。サブテーマ(4)地下空間防災教育・啓発では、サブテーマ(1)～(3)で得られた知見の社会展開ならびに啓発ツールの開発や利用、効果の検証などを展開していく。サブテーマ(5)地下空間の有効活用は、防災面の観点からの利用を中心に調査、研究を行い、計画、心理小委員会とも連携しつつ地下空間の活用について検討を行う。

2.3 研究スケジュール（3 か年）

活動内容／年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
1 研究内容の検討(次期の検討)	←————→		←.....→
2 研究課題の整理, 研究活動		←————→	←————→
3 セミナー等開催		←————→	←————→
4 成果とりまとめ			←————→

3.研究体制（委員長／幹事）

- ・委員長：福岡大学 橋本彰博
- ・幹事：関西大学 橋本雅和